

火災から文化財を守れ!! 平成28年文化財防火訓練・出初式



1_俊敏な動作で放水訓練をする町消防団/2_屋内に閉じ込められた要救助者を想定しエンジンカッターでドアを開いて救出する訓練/3_各自主防災会も堂々と行進/4_長島少年消防クラブも元気に行進/5_出初式で観閲を受ける婦人消防協力隊/6_功労賞を受ける団員



町消防団 第5分団
にしまい たか ゆき
西米 孝之さん(39歳)

子どもたちに背中を見せることにより、次世代につなげていきたい

私が入団したきっかけは、分団長や副分団長をはじめ、団員のみんなに「消防団に入らないか」と声をかけられたことです。昨年8月に行われた消防操法競技会では第5分団のポンプ操法の選手として出場しました。練習は大変でしたが、良い経験となり、とてもやりがいを感じ

ました。消防団を通して地域とのつながりが強くなりましたし、地域のみんなで1つのことを成し遂げるのは楽しいです。今後も「自分が古里を守る」という強い気持ちを持って、すぐに災害現場に駆けつけ、子どもたちにかっこいい父親の姿を見せていきたいです。

地元消防団の人数が減っており、若い人の力が必要だと感じた

地元消防団の人数が減っており、火災などで緊急出動する際には人数が少なく、大変そうだなと感じていました。自分一人でも、地域の力になればと思い、入団を決意しました。

入団して良かったのは、地域の人たちに感謝されたことです。「若い人が入って良かった」

「地域のために頑張る」とみんなに声をかけてもらい、とても励みになっています。

平泉は世界遺産に登録されており、とても重要な建造物などがたくさんあります。少しでも力になれるように、今後も消防団活動を頑張っていきたいと思っています。



町消防団 第6分団
ちば しげあき
千葉 繁明さん(32歳)

消防団員確保の問題は地域の課題と考える

消防団の活動は基本的に公的支援である「公助」にあたるものの、地域の人たちと協力し合う「共助」の側面も兼ね備えています。この観点に立てば、消防団員確保の問題も消防団だけでなく、地域の問題としてみんなが考えなくてはなりません。国民意識が大きく変化するか、防災力を維持していくためにはどうすればいいのか。全てを消防団に任せるのではなく、自助(家庭)、共助(地域)、公助(行政)、それぞれの立場でできることを考えることが大切です。

古里を守るといふ使命

長い歴史を持つ町消防団。消防団に入団するということは、率先して古里を守るという使命を受け継ぐこと。古里を心から愛しているからこそ、地域を守るために災害現場に飛び込みます。守るべきものがあるその誇らしい姿は、まさに地域を守るヒーローです。

【特集】地域を守るHERO
—消防団—
終わり



町消防団員を募集しています!

消防団でああなたの力を生かしてみませんか

■入団資格

本町に居住する年齢満18歳以上50歳未満の人

■主な処遇など

▷ 条例に基づく報酬、報償費を支給します

▷ 公務災害補償、退職報償金、被服の貸与、表彰制度など

■問い合わせ先

総務企画課 ☎46-5578

昭和24年1月26日に奈良法隆寺の金堂が炎上し、壁画が焼損したのをきっかけに制定された「文化財防火デー」にちなんで1月24日、毛越寺と中尊寺で文化財防火訓練が行われました。

早朝から行われた防火訓練には、町消防団などから約200人が出動。機敏な動作で建物を水幕で包みました。また自主防災会などによる文化財の搬出訓練や外国人を含む参拝客の避難誘導など、実践ながらの訓練が繰り広げられました。

訓練終了後には町営第2駐車場と平泉分館の両会場で、町消防団の出初式が開かれました。観閲や町長告辞、団長訓示に引き続き、団員の定例表彰などが行われ、表彰された方々は次の通りです。(敬称略)

【町長表彰】

▽功労章(勤続20年)

佐々木久人(第2分団) 佐々木明(同) 千葉昭(第3分団) 小野寺武(第4分団) 千葉和正(同) 菊地厚(第8分団)

▽功績章(勤続15年)

吉積弘行(第1分団) 千葉武夫(第3分団) 菅原忠(第5分団) 小野寺博樹(第6分団) 春日谷一之(第7分団) 高橋勇一(同)

▽勤続章(勤続10年)

千葉義行(第1分団) 千葉伸一(同) 小野寺健司(同) 阿部国実(第4分団) 石神信弥(第6分団) 小野寺清隆(同) 千葉洋子密(同) 千葉正博(同) 葛西保晴(同) 小野寺巧(同) 石川祐規(第7分団) 千田健一(同)